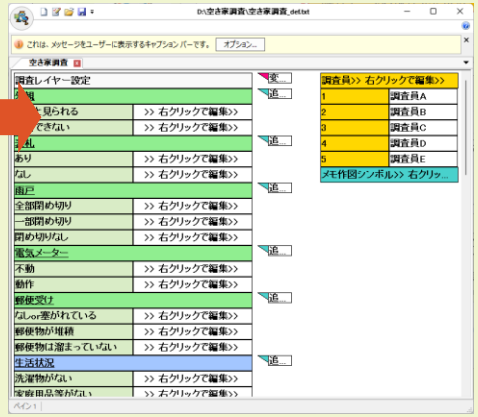
Step1

調査用データを作る

■ 出簡調_管理設定マニュアル
「3.調査項目などを設定する」
「4.調査用プロジェクトを作成する」

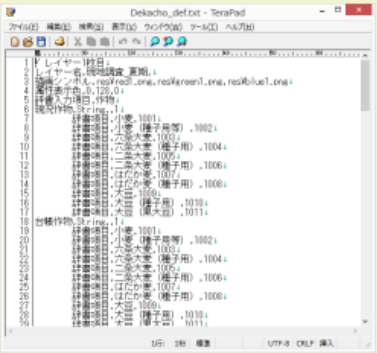
調査項目などを設定する

1 はじめに調査項目等を設定する「**定義ファイル**」を作成します。
設定管理ツールを起動し、調査項目やシンボル、調査員などを設定していきます。



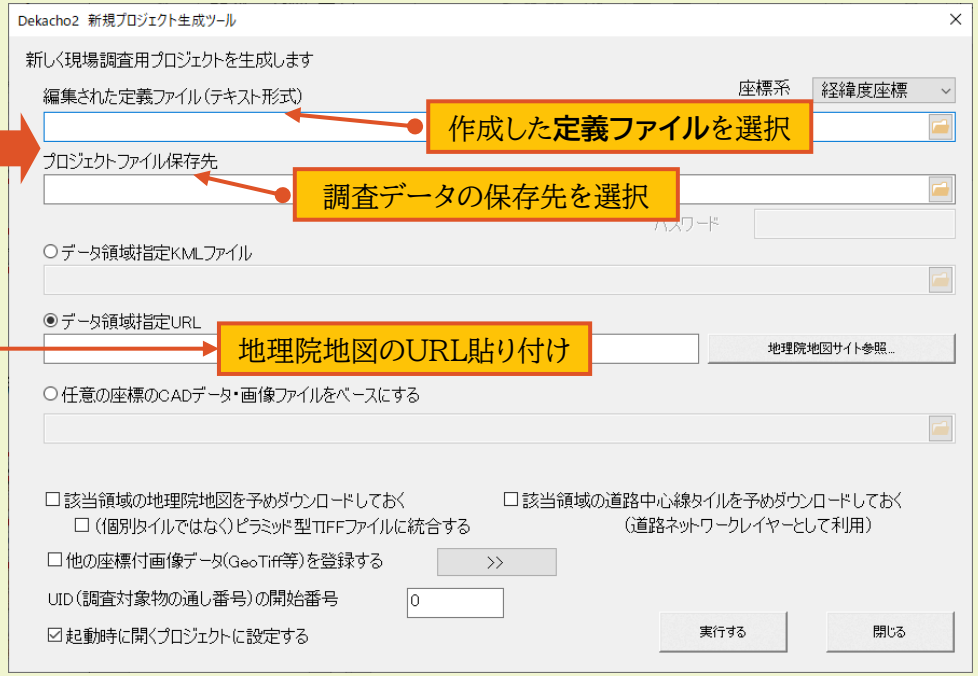
サンプルを読み込んで、編集していただくと
よりかんたんに作成できます！
出簡調特設サイトにてサンプルを公開中！

2 設定が完了したら、保存ボタンをクリックし、
定義ファイルの完成です！
テキストエディタで、内容を確認しましょう。

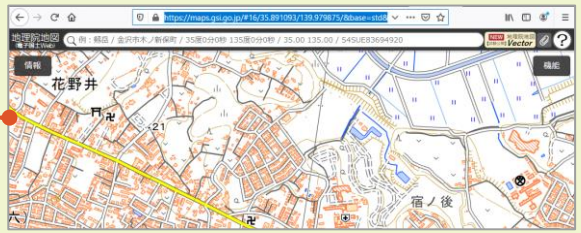


調査データを作成する

1 **プロジェクト生成ツール**を起動して調査用データを作成します。
下図の要領で設定していきます。



2 地図データを設定します。クイックガイドでは地理院地図を利用します。
地理院地図サイト参照... をクリックし、調査エリアを地理院地図で表示します。



3 データが完成しました。
Step2で**出簡調**を開いてみましょう！

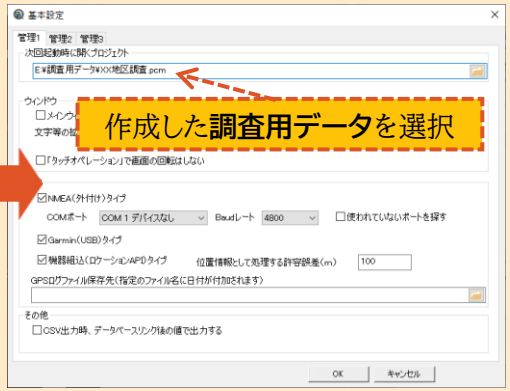
Step2

出簡調で調査する

■ 出簡調_管理設定マニュアル「5.出簡調の環境設定を行う」
■ 出簡調_取扱説明書

出簡調を起動してみよう！

1 作成した調査用データを**出簡調**で読み込みます。
管理ツールを起動し、**出簡調**で開くデータを選択します。



- ☑ Step1で「☑起動時に開くプロジェクトに設定する」をチェックオンにしている場合、この手順は不要です。
- ☑ **出簡調**の環境設定は**管理ツール**で行います

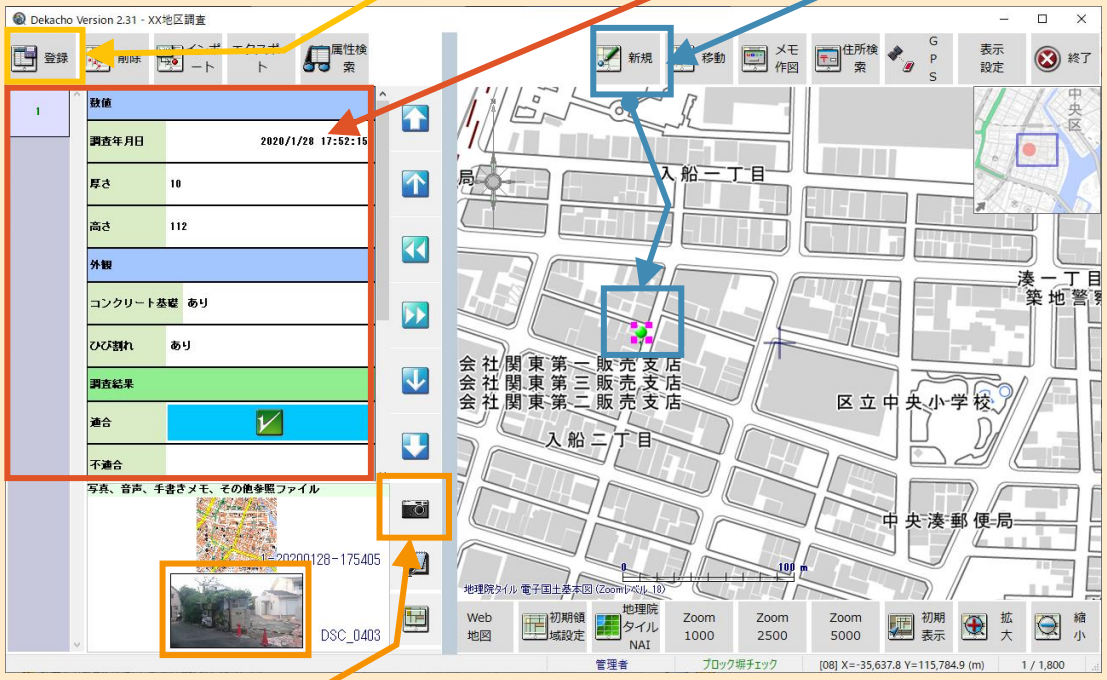
2 さあ**出簡調**を起動してみましょう！

出簡調で調査地点を落とし、入力しよう

1 **【新規】**ボタンを押し、地図上の調査地点をタップすると、ポイントが発生します。

2 新規の調査項目入力欄が表示されます。タップして入力していきましょう。

3 **【登録】**ボタンを押して入力完了です！



4 現況写真を撮影する場合は、**ボタン**を押すと起動するWindowsのカメラで写真を撮影してください。
調査項目の下部にある、フォルダに保存されます。
ここにはドラッグ＆ドロップで、関連するファイルも格納しておくことができます。

出簡調のメニューはカスタマイズが可能です！出簡調特設サイトにてサンプルを公開中！

※ここでは見やすさのため、地理院地図(淡色)を表示していますが、初期設定では地理院地図(標準)が表示されます。

Step3

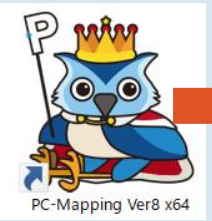
調査用データを作る

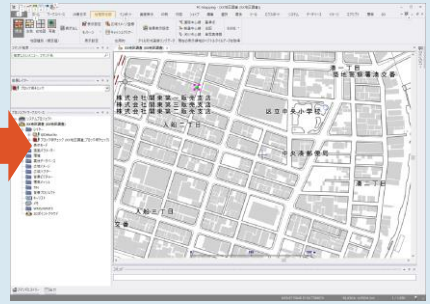
PC-MAPPING編

■ 出簡調_管理設定マニュアル
「8.PC-MAPPING連携機能」

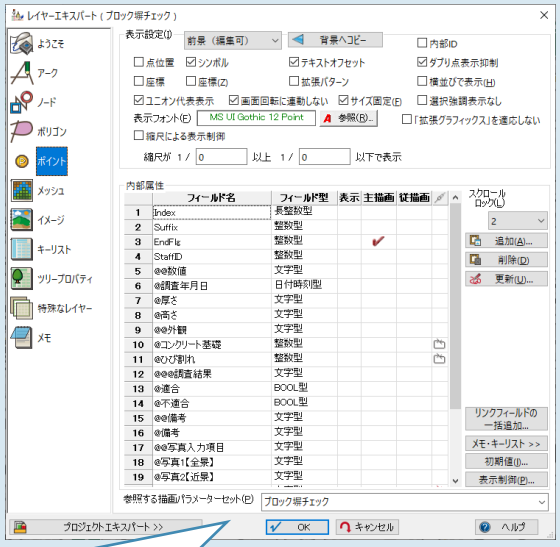
PC-MAPPINGで開く

1 Step1で作成した調査用データをPC-MAPPING HTで開きます。





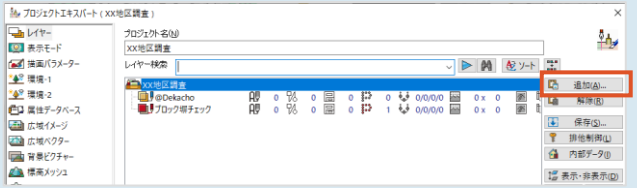
2 出簡調の調査データは、**ポイントの内部属性**に登録されています。



■ レイヤーエキスパート[ポイント]パネル
冒頭に「@」がついているものが調査項目だと分かります

他のプロジェクトデータを背景に追加する

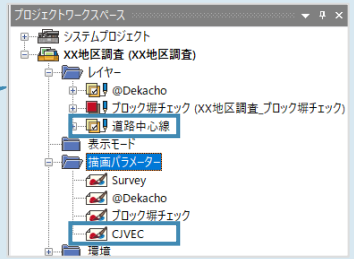
1 調査用データの**プロジェクトエキスパート**[レイヤー]パネルを開きます。



【追加】ボタンから「ファイル読み込み」を選択します。

2 追加するプロジェクトデータを選択すると、データが追加されます。

ここでは、「道路中心線」レイヤー、描画パラメーター「CJVEC」を追加しました

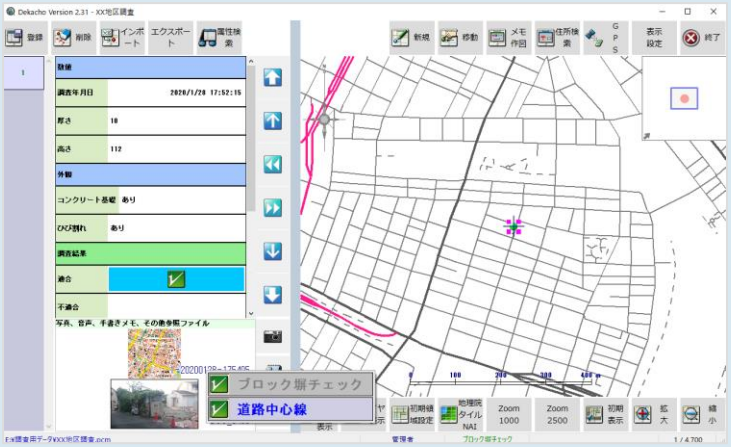


3 地理院地図もオフにしてみます。
リボンメニュー「地理院地図」から表示なしにします。

4 あとは**上書き保存**し、出簡調で開いてみましょう！

5 レイヤーが追加され、レイヤーの表示切替ができるようになりました。
地理院地図も非表示になりました。

追加したデータにはタップすると属性照会できる設定がしてありました。
出簡調でも、PCMと同様に照会できます。



Dekacho's Hint

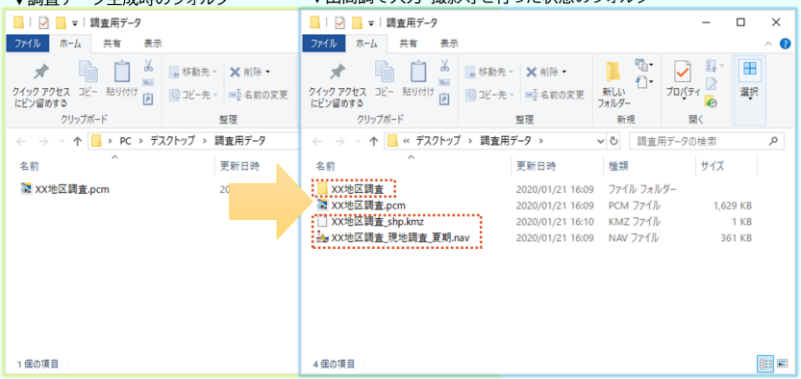
よくあるご質問

はじめての人は
■出簡調_スタートガイドをチェック！　Dekacho　Ver.2

Q1　調査用データはどこに保存するのがよい？

調査用プロジェクト(*.pcm)を保存した場所には出簡調で入力・撮影等を行ったデータがすべて同じフォルダに格納されていきます。
関係するファイルやフォルダは、調査用プロジェクト名や調査レイヤー名で命名されますので、ぜひ参考にしてください。

▼調査データ生成時のフォルダ　▼出簡調で入力・撮影等を行った状態のフォルダ



Q2　撮影した写真はどこにある？

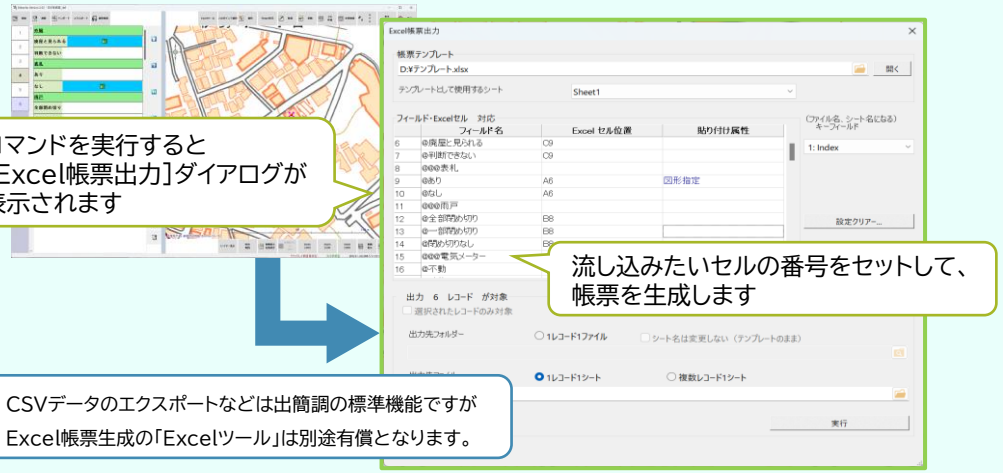
調査用プロジェクト(*.pcm)を保存した場所にあるフォルダ内に、ポイント単位でフォルダ分けされて格納されています。

フォルダ構成
C:調査用データ　・・・・・・　保存フォルダ
└─XX地区調査　・・・・・・　プロジェクト名
　└─現地調査_夏期　・・・・　レイヤー名
　　└─1　・・・・・・・・ポイントのUID
　　└─2

ここに格納されます

Q3　成果物として帳票を出力したい、エクスポートしたデータはどこに？

出簡調の調査データから、Excelへ流し込みで帳票を作成するオプションツールがあります。
出簡調の【Excelツール】ボタン(コマンド:DbExcelTool)で起動するダイアログに、**流し込むデータ**と**セル番号**の**対応関係**を設定します。



Q4　調査ポイントを住所や座標のリストから落とせないの？

Excelがインストールされている場合は、Excelのリストからポイントを生成することができます。

出簡調の【インポート】ボタン(コマンド: LoadExcel)からExcelデータを読み込み、住所ないしは座標からポイントを生成します。
ポイントを生成すると、Excelのその他のフィールドの情報も出簡調上で編集不可の項目として参照できるため非常に便利です。

※記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。